

# 出羽三山、時空を歩く

～自然と信仰が息づく『生まれかわりの旅』～

山形県の中央に位置する出羽三山の雄大な自然を背景に生まれた羽黒修験道では、羽黒山は人々の現世利益を叶える現在の山、月山はその高く秀麗な姿から祖霊が鎮まる過去の山、湯殿山はお湯の湧き出る赤色の巨岩が新しい生命の誕生を表す未来の山と言われます。三山を巡ることは、江戸時代に庶民の間で『生まれかわりの旅』として広がり、地域の人々に支えられながら、日本古来の、山の自然と信仰の結び付きを今に伝えていきます。羽黒山の杉並木につつまれた石段から始まるこの旅は、訪れる者に自然の靈氣と自然への畏怖を感じさせ、心身を潤し明日への新たな活力を与えます。

## プログラム

- 19:30 開会 (19:00開場)  
19:35 パネルディスカッション  
21:10 閉会



### コーディネーター

出羽庄内地域文化情報誌  
「クレードル」編集長

### 小林 好雄氏

元庄内銀行常務執行役。庄内銀行「庄内価値開発研究会」事務局長を務めた後、地域活性化を目指す株式会社出羽庄内地域デザインを設立し、現在代表取締役。クレードル編集長、また着地型旅行商品の企画販売、ツアーのガイドなど、地域の魅力発信に努めている。

## パネリスト



### 写真家

### 稲田 美織氏

多摩美術大学油絵学科卒業後、一橋中学にて美術教員を務めたのち、1991年よりNYでフリー写真家として活動。2001年のNY同時多発テロ目撃を契機に世界中の聖地を撮影。2006年より伊勢神宮の式年遷宮に関わる撮影を開始。2016年4月写真書籍・全編英語版『Ise Jingu and the Origins of Japan』発刊。ハーバード大など世界各地で展覧会を開催。著書に『聖地へー神々の大地に祈る』（ランダムハウス講談社）など。



### 山伏

### 坂本 大三郎氏

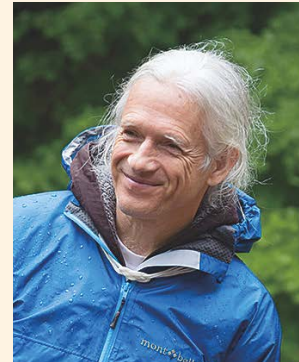
東北を拠点に活動する山伏。春には山菜を採り、夏には山に籠り、秋には各地の祭りをたずね、冬は雪に埋もれて暮らす。美術作家として『山形ピエンナーレ』、『瀬戸内国際芸術祭2016〈秋期〉』などに参加。著書に『山伏と僕』（リトルモア）など。



### 山伏、東京在住

### 大槻 レナ氏

秘境を旅するバックパッカーの後、化粧品会社勤務。その後著名写真家の専属プロデューサーとして展覧会、イベント企画など担当。2011年の東日本大震災を機に常勤を退きアソシエイトプロデューサーに。現在は父親の経営する会社を継ぎ、代表取締役を務める。母親の故郷である長野県飯山市で、修験を復活させる活動や、都会の人々が多拠点生活をするための場づくりなども行っている。



### 写真家

### エバレット・ブラウン氏

アメリカ・ワシントンDC生まれ。大学時代に文化人類学を学び、世界を旅する中で、1986年に日本に移住。epa通信社日本支局長を経て、現在は日本の本流を探究する手法として『湿板写真』を用い、日本文化の多様性を表現している。文化庁長官表彰（文化発信部門）被表彰者。2017年5月写真集『Japanese Samurai Fashion』発刊。著書に『俺たちのニッポン』（小学館）など。

## シンポジウムのお申込み

FAX・ホームページ・QRコードからお申込みください。

FAXでのお申込みは下記必要事項をご記入の上、FAX送信してください。

fax. 0235-64-0918 <http://www.cradle-ds.jp>



ふりがな

お名前

住所(市区町村名)

※市区町村名のみ、ご記入ください

組織名・所属

※差し支えなければ、ご記入ください

連絡先電話番号

(またはメールアドレス)

ふりがな

お名前

住所(市区町村名)

※市区町村名のみ、ご記入ください

組織名・所属

※差し支えなければ、ご記入ください

連絡先電話番号

(またはメールアドレス)